



西新潟中央病院

NST NEWS 第25号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2015年12月8日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線1303

NSTミニレクチャー 第14回 ～症例を通して学ぶナイアシン欠乏症のお話～

月に1度の栄養の勉強、NSTミニレクチャーのコーナーです。

第14回はナイアシン(ニコチン酸)欠乏症についてです。



・症例

まさご 次郎さん 50歳代 男性

次郎さんはアパートで独り暮らし。リストラにあってから生活が乱れ、やめていたお酒をまた飲み始めるようになっていた。ある日アパートの大家さんが次郎さんの部屋の新聞がたまっていることに気付き、呼び鈴を鳴らしても反応がなかったため合鍵を使って部屋に入ってみると、次郎さんがベッドで動けなくなっていた。慌てて救急車を呼び、病院に搬送された。

・身体所見

身長163cm、体重46.8kg、BMI:17.7

全身の皮膚に発赤がみられた。

話を聞いても辻褄の合わない返答しか

返ってこず、認知症様の症状がみられた。

・血液検査

Alb (g/dl)	CRP (mg/dl)	ニコチン酸 (μ g/ml)
2.6	2.16	4.3

低Alb血症と、血中ニコチン酸の減少がみられた。

・経過

食事は嚥下訓練食から開始し、徐々に食上げて常食が食べられるようになった。

パンビタン®の内服及びビタミン®の注射を開始したところ、皮膚の発赤は改善し、認知症様症状も消失した。

・症例を通して

① ナイアシンは水溶性ビタミンの一つで、不適切な食事とアルコールの多飲で欠乏することがあります。

② 今回の症例はナイアシンの欠乏によるペラグラと診断されました。ペラグラはイタリア語で「皮膚の痛み」を意味し、光線過敏症に伴う皮膚の発赤、精神症状、神経症状等が現れます。治療はナイアシンと共に、ビタミンB群(B1、B2、B6)の補給が重要になります。

(文責:栄養管理室 澤田周矢)

12月の学会・研修会のご案内

12/12: 第27回新潟在宅酸素療法研究会総会

12/17: 第5回再骨折予防研修会

12/19: まさご集談会総会

12/20: 第3回日本静脈経腸栄養学会 関東甲信越
支部学術集会

編集後記

12月1日に2015年度秋季NST専門療法士教育研修が無事終了いたしました。御協力いただいた職員の皆様、講義を担当してくださいました先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。